

区分	番号	学位論文	全著者名、論文名、掲載誌名、掲載年；巻（号）：ページ番号	国際共同
英文原著	1	*	Ishibe Y, Kusaoi M, Murayama G, Nemoto T, Kon T, Ogasawara M, Kempe K, Yamaji K, Tamura N. Changes in the Expression of Circulating microRNAs in Systemic Lupus Erythematosus Patient Blood Plasma After Passing Through a Plasma Adsorption Membrane. Ther Apher Dial. 2018 Jun;22(3):278-289.	
英文原著	2		Asakura K, Azechi T, Sasano H, Matsui H, Hanaki H, Miyazaki M, Takata T, Sekine M, Takaku T, Ochiai T, Komatsu N, Shibayama K, Katayama Y, Yahara K. Rapid and easy detection of low-level resistance to vancomycin in methicillin-resistant Staphylococcus aureus by matrix-assisted laser desorption ionization time-of-flight mass spectrometry. PLoS One. 2018 Mar 9;13(3):e0194212. doi: 10.1371/journal.pone.0194212. eCollection 2018.	
区分	番号		全著者名、論文名、掲載誌名、掲載年；巻（号）：ページ番号	国際共同
英文総説	1		A Modifiable overseas elective handbook: international initiatives to create a helpful resource for schools of health professions. 2018 <a href="http://hinohara-fellows.umin.jp/f/A%20Modifiable%20Overseas%20Elective%20Handbook-%202018-2.pdf">http://hinohara-fellows.umin.jp/f/A%20Modifiable%20Overseas%20Elective%20Handbook-%202018-2.pdf</a>	○
英文総説	2		Neally M, Takeda Y. Using photography to improve attitudes towards English practice and foster habits of mind. Medical Education (Japan).49 (3): 347-352, 2018	
区分	番号		発表者名、発表タイトル（題目・演題・課題等）、学会名、場所、発表年月日等	国際共同
国際学会発表	1		Takeda Y, Wylie A, Hamdy H and Snell L. International perspectives on incorporating concepts of social determinants of health into core curricula: challenges and opportunities. Annual Conference AMEE (An International Association for Medical Education), Basel, Switzerland, August 27, 2018	
国際学会発表	2		Takeda Y, Park YS, Ozone S, Hori H, Maeno T, Nishigori H, Snell L. Differences in learning experiences and outcomes of international health elective program participants who visited low- middle income or high-income countries: a cross-sectional survey of Japanese medical graduates. AMEE 2018(An International Association for Medical Education), Basel, August 2018.	○
区分	番号		全著者名、論文名、掲載誌名、掲載年；巻（号）：ページ番号	国際共同
和文総説	1		武田裕子：SDHと医学生教育の実践：卒後研修とヘルス・アドボケート。民医連医療 548:26-29, 2018	
和文総説	2		大滝純司，武田裕子：医学教育論文発表への道—研究計画から学会誌投稿まで。医学教育 49(1): 1-4, 2018	
和文総説	3		武田裕子。：国際会議参加の意義。医学教育 49(3): 185, 2018	
和文総説	4		武田裕子，高岡直子：プライマリ・ケアの現場で「貧困」に気づく・取り組む。プライマリ・ケア :32-36, 2018	
和文総説	5		武田多一，永石妙美，大野直子，武田裕子。災害直後の「支援」と「受援」を考えるアクティブ・ラーニング。医学教育 49(3)：219-222, 2018	

和文総説	6	武田裕子, 堀浩樹, 小川寿美子: 文部科学省国際協カイニシアティブ教育協力拠点形成事業: 「持続可能な発展のための教育(Education for Sustainable Development:ESD)」の推進. 医学教育 49(4): 322-331, 2018	
和文総説	7	小松裕和, 武田裕子. : 医師の影響力を自覚的に用いる-アドボカシー活動とパートナーシップ構築. プライマリ・ケア :38-41, 2018	
和文総説	8	武田裕子. 世界の医学教育の流れ. 医学教育 49(5) : 434-441, 2018	
和文総説	9	武田裕子, 小曾根早知子, 武田多一. 諸外国のフィジシャン・アシスタント (PA) に関する研究. 平成29年度厚生労働科学研究費補助金行政政策研究分野厚生労働科学特別研究(平成30年7月日公開) <a href="https://mhlw-grants.niph.go.jp/niph/search/NIDD00.do?resrchNum=201706020A">https://mhlw-grants.niph.go.jp/niph/search/NIDD00.do?resrchNum=201706020A</a>	
和文総説	10	坪谷ひなの, 八木瑚々朱, 武田裕子. "外国につながるのある子どもたち"への支援活動で学んだ健康格差の社会的要因(SDH). 外来小児科 21(1): 96-97, 2018	
和文総説	11	吉田昂平, 武藤優樹, 武田裕子. SDHを学んでからの2年間: 臨床実習で生じた思いの振り返り. 外来小児科 21(1) : 97, 2018	
和文総説	12	武田裕子. 健康格差をもたらす「健康の社会的決定要因」への働きかけ. 第5部総合診療医が今後果たすべき役割に関する提言. 厚生労働省行政推進調査事業費補助金報告書. 2018	
区分	番号	全著者名、書籍名、出版社名、出版年；巻（号）：ページ番号等	国際共同
和文著書	1	鈴木 勉, I呼吸不全、第1編呼吸器疾患とその診療 第2章呼吸器の症状と病態生理. 新体系看護学全書 成人看護学②呼吸器第4版, 高橋和久、青木きよ子 編、メヂカルフレンド社、2018 : 36-40	
和文著書	2	鈴木 勉, I呼吸不全、第2章呼吸器の症状と病態生理. 新体系看護学全書 疾病の成り立ちと回復の促進④疾病と治療1呼吸器, 高橋和久 編、メヂカルフレンド社、2018 : 24-28	
和文著書	3	武田裕子. 医学教育研究. 『医学教育白書2018年版』日本医学教育学会監修, 篠原出版新社, 130-134, 2018	
和文著書	4	武田裕子. 学会誌編集委員会. 『医学教育白書2018年版』日本医学教育学会監修, 篠原出版新社, 377, 2018	
区分	番号	発表者名、発表タイトル（題目・演題・課題等）、学会名、場所、発表年月日等	国際共同
国内学会発表	1	石部 祐介, 草生 真規雄, 塚原 隆伊, 村山 豪, 杉崎 良親, 根本 卓也, 今 高之, 小笠原 倫大, 建部 一夫, 山路 健, 田村 直人, 限局皮膚硬化型全身性強皮症に合併した難治性潰瘍に対して、LDLアフェレシスが有効であった2例. 第39回 日本アフェレシス学会学術大会. 岡山. 2018年 10月26日	
国内学会発表	2	根本 卓也, 塚原 隆伊, 石部 祐介, 村山 豪, 杉崎 良親, 草生 真規雄, 今 高之, 小笠原 倫大, 建部 一夫, 山路 健, 津田 裕士, 田村 直人, 膠原病の難治性合併症に対するアフェレシス. 第39回 日本アフェレシス学会学術大会. 岡山. 2018年 10月27日	
国内学会発表	3	根本 卓也, 石部 祐介, 塚原 隆伊, 村山 豪, 天野 里沙, 杉崎 良親, 草生 真規雄, 関谷 文男, 今 高之, 小笠原 倫大, 建部 一夫, 山路 健, 田村 直人, 妊娠中血漿交換療法を併用し、病状の悪化なく分娩可能であった全身性エリテマトーデスの1例. 第62回日本リウマチ学会総会・学術集会. 東京. 2018年4月28日	
国内学会発表	4	草生 真規雄, 石部 祐介, 村山 豪, 杉崎 良親, 根本 卓也, 河本 敏雄, 今 高之, 小笠原 倫大, 建部 一夫, 山路 健, 田村 直人, 関節リウマチ患者に対する白血球除去療法によりmiR-223-3p, miR-451a, miR-150-5pなどの発現は変動する. 第62回日本リウマチ学会総会・学術集会. 東京. 2018年4月28日	
国内学会発表	5	今 高之, 松下 雅和, 小笠原 倫大, 建部 一夫, 山路 健, 田村 直人, 全身性強皮症における間質性肺炎に関する検討. 第62回日本リウマチ学会総会・学術集会. 東京. 2018年4月27日	
国内学会発表	6	根本 卓也, 石部 祐介, 塚原 隆伊, 村山 豪, 天野 里沙, 杉崎 良親, 草生 真規雄, 関谷 文男, 今 高之, 小笠原 倫大, 建部 一夫, 山路 健, 田村 直人, 単純血漿交換療法で使用した新鮮凍結血漿により輸血関連急性肺障害を来したと考えられた1例. 日本医工学治療学会 第34回学術大会. 埼玉. 2018年3月18日	
国内学会発表	7	宮下洋佑, 高木陽, 岡本翔一, 小山良, 嶋田奈緒子, 長岡鉄太郎, 鈴木勉, 高橋和久: 当院における軟性気管支鏡を用いた気管支内異物除去術の検討、第41回日本呼吸器内視鏡学会学術集会、東京、2018年5月24日	

国内学会発表	8	朝尾哲彦, 高木陽, 堀越公子, 安部寿美子, 宮下洋祐, 岡本翔一、本間裕一郎, 市川昌子, 小山良, 嶋田奈緒子、長岡鉄太郎, 鈴木勉、鈴木健司, 高橋和久、当院でEBUS-TBNA施行後に発症した縦隔炎2例の検討、第41回日本呼吸器内視鏡学会学術集会、東京、2018年5月24日	
国内学会発表	9	松本直久・岡本翔一・高木陽・小山良・嶋田奈緒子・長岡鉄太郎・鈴木勉・高橋和久、TBNA を用いて採取した微小検体におけるPD-L1 の染色性に関する検討、第41回日本呼吸器内視鏡学会学術集会、東京、2018年5月24日	
国内学会発表	10	Miwa Sekine1,2, Kyoko Kuwahara1, Teruo Kirikae1, Keiichi Hiramatsu3, Investigation into bactericidal effect of Platinum nano particles. 第91回日本細菌学会総会、福岡、2018年3月27日(火)～29日(木),	
国内学会発表	11	武田裕子, 岩田一成, 金井彩音, 戸田さや香, 吉開章, 大北葉子, 岡田隆夫。「やさしい日本語」を保健医療に導入する多職種間教育：実践報告。日本国際保健医療学会大33回東日本地方会。2018年7月7日。	
国内学会発表	12	武田裕子, 大野直子, 坪谷ひなの, 金井彩音, 岡田隆夫。「やさしい日本語」スキル教育で健康格差の社会的要因と働きかけを学ぶ。第50回日本医学教育学会大会, 東京, 2018年8月3日	○
国内学会発表	13	Sun S, Takeda Y, Wylie A, Kessy AT, Snell L. Conference as an approach to refine research work: development of "Overseas Elective Handbook". 第50回日本医学教育学会大会, 東京, 2018年8月3日	
国内学会発表	14	齋藤学, 武田裕子, 山口卓哉。卒後へき地医療研修教育：Rural Generalist Program Japan (RGPJ) 1年間の振り返り。第50回日本医学教育学会大会, 東京, 2018年8月3日	
区分	番号	発表者名、演題、学会名、場所、発表年月日等	国際共同
特別講演・招待講演	1	武田裕子。世界の医学教育の流れ。日本医学教育学会50周年記念公開シンポジウム「医学教育：過去、現在、そして未来へ」、東京、2018年8月5日	
特別講演・招待講演	2	武田裕子。日本プライマリ・ケア連合学会の「健康格差に対する見解と行動指針」。第4回貧困と子どもの健康研究会。名古屋、2018年11月25日	
区分	番号	発表者名・著者名、活動内容・タイトル等、掲載・発表情報等	国際共同
その他 (広報活動を含む)	1	受賞：Laureate Award, American College of Physicians (ACP) Japan Chapter	○
その他 (広報活動を含む)	2	武田裕子。講演「日本とイギリスの医学部におけるSDH教育と医師養成」。沖縄民医連医師団会議、那覇、2018年2月27日	
その他 (広報活動を含む)	3	武田裕子。講演「病院の入り口に立ってない人たち－健康の社会的決定要因SDH」。ポスト医ゼミin大阪。主催関西医ゼミに行く会。枚方、2018年3月10日	
その他 (広報活動を含む)	4	武田裕子。講演「全ての人が健康に生きられる社会－SDHとは」。スプリング医ゼミ。東京、2018年4月21日	
その他 (広報活動を含む)	5	武田裕子。講演「SDHと医学教育の実践・卒後研修とヘルス・アドボケイト」。熊本県民医連2018年度春季医師部会、熊本、2018年4月28日	
その他 (広報活動を含む)	6	武田裕子。講演「SDHと医学生教育・卒後研修の実践」福島県民主医療機関連合会医師総会。郡山、2018年5月26日	
その他 (広報活動を含む)	7	武田裕子。講演「健康格差の社会的決定要因－医療者にできること」。青森県民主医療機関連合会第48回医師総会。弘前、2018年5月19日	
その他 (広報活動を含む)	8	武田裕子。講演「寄り添う医療・介護・地域へ：SDHを学ぼう」。医療生協さいたま第学習会、2018年6月30日	
その他 (広報活動を含む)	9	武田裕子。講演「健康の社会的決定要因と医学教育」。千葉県民主医療機関連合会医師会議。船橋、2018年7月21日	

その他 (広報活動を含む)	10	武田裕子. 講演「SDHと医学生教育・医師養成」. 山梨県民主医療機関連合会2018年度前期医師総会. 甲府, 2018年7月28日	
その他 (広報活動を含む)	11	武田裕子. 講演「健康格差に対して医療者ができること—SDHを学ぶ理由」. 福岡医療団千鳥橋病院地域診断フィールドワーク事前学習会. 福岡, 2018年8月20日	
その他 (広報活動を含む)	12	武田裕子. 日本医学教育学会第20期「学会誌編集委員会」委員長	
その他 (広報活動を含む)	13	武田裕子. 日本医学教育学会第20期「教育研究・利益相反委員会」委員	
その他 (広報活動を含む)	14	武田裕子. 日本在宅医学会「編集委員会」副委員長	
その他 (広報活動を含む)	15	武田裕子. 日本外科学会新専門医制度における最低手術経験数ワーキンググループ委員	
その他 (広報活動を含む)	16	武田裕子. 科学研究費委員会専門委員	
その他 (広報活動を含む)	17	武田裕子. 日本医学教育学会第20期理事	
その他 (広報活動を含む)	18	武田裕子. 日本プライマリ・ケア連合学会理事	
その他 (広報活動を含む)	19	武田裕子. 日本プライマリ・ケア連合学会「健康の社会的決定要因検討委員会」委員長	